

製品名: LC3A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00054**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 14 kDa; Observed MW: 14 kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP1LC3A Microtubule-associated proteins 1A/1B light chain 3A; Autophagy-related protein LC3 A;
別名	Autophagy-related ubiquitin-like modifier LC3 A; MAP1 light chain 3-like protein 1; MAP1A/MAP1B light chain 3 A; MAP1A/MAP1B LC3 A; Microtubule-associated protein 1 light chain 3 alpha
遺伝子 ID	84557
SwissProt ID	Q9H492
免疫原	ヒト MAP1LC3A の合成ペプチド

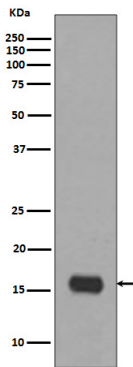
背景

オートファジーマーカーである軽鎖3 (LC3) は、当初は微小管関連タンパク質 1A および 1B (MAP1LC3 と命名) のサブユニットとして同定され、その後、オートファジーに重要な酵母タンパク質 Apg8/Aut7/Cvt5 との相同性を持つことが明らかになりました。ヒト LC3 には3つのアイソフォーム (LC3A、LC3B、LC3C) があり、オートファジー中に翻訳後修飾を受けます。LC3 は合成直後にカルボキシ末端で切断され、細胞質 LC3-I 型となります。

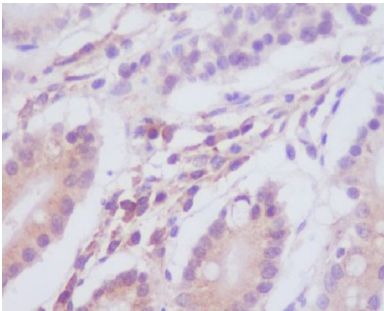
研究分野

シグナル伝達

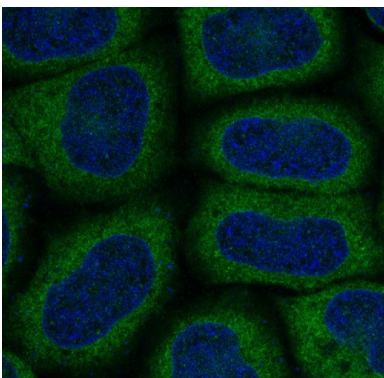
画像データ



LC3A 抗体を使用した HeLa 溶解物中の LC3A のウエスタン ブロット分析。



LC3A 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胃の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



LC3A 抗体を用いた HeLa 中の LC3A の免疫蛍光分析。